

「いきいきとした 産業のまちづくり」に向けて

◆**農業・農村**においては、活力を取り戻し、時代の変革に真正面から向き合える意欲と能力のある担い手を確保していく必要があるため、経営の多角化・複合化、また農業経営の法人化をはじめとする集落営農の組織化などに取り組んでまいります。

中でも地域生産物の加工・流通・販売などの分野となるアグリビジネスについては、地域農業の構造改革の加速化や所得向上などのための有力な手段として期待が寄せられておりますので、引き続き、地産地消（地域生産物・地域消費）並びにグリーン・ツーリズム（滞在型の都市農村交流）を推進してまいります。

◆**米政策**については、いよいよ本年度から米政策改革がスタートします。このため、昨年度に策定した水田農業ビジョンに基づき米づくりの本来あるべき姿の実現を目指してまいります。

◆**園芸果樹**などについては面積拡大を図り、低コスト化と単位収量の増収により農業所

得の向上を目指します。平成18年度には県果樹振興大会が本町を中心に開催される予定ですので、大会に向けた年次の準備を進めてまいります。

◆**農業基盤の整備**については、農村の快適な生活環境と定住条件や営農条件の改善を目指して引き続き各種の補助事業などを実施してまいります。

また、地元の皆さんによる手造り施設である農産物直売所「せせらぎの郷二渡」のオープンや、農業者以外の町民の皆さんに利用していただく市民農園を甫立原に開園し、都市と農村の交流を推進してまいります。



せせらぎの郷二渡

◆**林業**については、積極的な民有林の整備に努めてまいります。特に特用林産物については早掘り笛をはじめ、収穫時期の異なるカンザンチクやリヨクチクの普及に努めてまいります。

◆**商工業の振興**については、「高齢者等買い物支援事業」や「LOVE・LOVEみやのじょう」運動（町内商品などの愛着、愛用運動）を地域に密着した活動として更に推進してまいります。

◆**観光・物産振興**については、九州新幹線の一部開業に合わせ、近隣市町村や関係機関団体などと連携して観光資源や観光ルートなどを整備し、物産展や観光宣伝活動など通じて本町への入り込みを積極的に進めてまいります。コンベンションタウン推進事業については、「コンベンションタウン宮之城推進協議会」と連携してスポーツ大会、合宿などの誘致活動に努めてまいります。

◆**企業誘致**については、情報交換や企業動向を注視しながら、積極的な誘致活動を展開するとともに、就業機会の増大と町民所得の向上に努めてまいります。

「みどりやまのまちづくり」に向けて

◆**環境問題**については、昨年10月に施行した環境美化条例を基本として、条例の周知と環境問題に対する一人ひとりの意識を高めるために行政や環境美化推進員などによる環境美化パトロールを実施するとともに、町衛自連・地域住民と一体となつて清掃活動及び不法投棄の防止啓発などを行い、美しい町づくりに取り組んでまいります。また併せて環境問題の中で最も重要となる循環型社会の構築、並びにゴミの減量化についても積極的に取り組んでまいります。

◆**住環境の整備**については、16年度から東谷住宅団地を建築予定で準備を進めておりますが、国の補助事業などの一部見直しが行われておりますので、内容が明示され次第補正予算で対応したいと考えております。

また、定住関係では、土地開発公社で現在分譲中の佐志ニュータウンについて出来るだけ早く完売できるよう努力してまいります。



佐志ニュータウン

◆**道路交通網の整備**については、厳しい財政状況の中、要望などに基づく事業実施が難しくなってきたため、交通量、緊急性、重要性などを考慮し、計画的かつ重点的な整備に努めてまいります。

また、町道などの維持管理については、草払いなどの軽作業を引き続き関係沿線の皆さんのご協力による「ろまんちつく街道クリーン作戦」道路施設等の里親制度」の周知を図りながら、道路環境の改善に努めてまいります。

◆**都市計画事業**であります、屋地・虎居地区の中心市街地活性化事業については区画整理事業と一体的な取り組みが必要であるとの観点から、